

— 学 会 録 事 —

1. 日本藻類学会第18回大会

1994年3月29～31日、富山県民会館（富山市）において第18回大会を開催した。大会会長は濱田仁氏（富山医科薬科大学）、実行委員は藤田大介氏（富山県水産試験場）、渡辺信氏（富山大学）、安井一朗氏（富山県総合教育センター）で、一般講演63題（うち市民向け公開講演3題、展示発表9題）のほかに、市民向け公開展示が30題あった。大会参加者は164名で、これ以外に、29日の公開講演に80余名、大会期間を通して行われた公開展示には更に多くの一般市民が参加した。なお、大会参加者及び公開講演参加者には、本大会に向けて発行された「富山の藻類」（富山県水産試験場刊）が配布された。

大会第2日目に同会場において総会を開催し、引き続き県民会館内の「キャッスル」で、約2時間にわたって懇親会を開催した。懇親会は藤田大介氏（富山県水産試験場）の司会により、有賀祐勝学会長の乾杯の音頭に始まり、140余名に及ぶ多数の参加で盛会裡に終了した。大会の運営にあたっては上記各氏のほか、富山県水産試験場並びに県内の本会関係者、補助金交付団体・寄付者、富山大学学生諸君及び市民向け企画参加者各位にいろいろとご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

大会参加者

青木美恵、秋岡英承、秋山昌代、鰐坂哲朗、阿部剛史、有賀祐勝、飯田高明、飯間雅文、池原宏二、石川依久子、石田健一郎、石田政弘、石本佳代、Sri Istini、市村輝宜、出井雅彦、井上 勲、今村 明、井山洋子、植村康一、宇田川彰久、梅崎 勇、江端弘樹、大島真紀子、大谷修司、大西綾美、大野正夫、岡崎恵視、奥田一雄、恩地真一、加崎英男、梶村光男、片平幸枝、片山舒康、加藤哲也、金井塚泰裕、川井浩史、川久保明宏、川嶋昭二、河地正伸、喜田和四郎、北山太樹、久保文靖、工藤飛雄馬、黒田充恵、高原隆明、小亀一弘、小杉照男、小西健二、小林 弘、斎藤宗勝、斎藤讓、佐々木誠、佐武俊作、佐藤輝夫、佐藤博雄、佐野修、澤田 威、島村京子、申 宗岩、宍道道子、神保絹絵、杉山孝一、鈴木三喜、瀬戸良三、芹沢如比古、田井野清也、高田英夫、竹下俊治、立沢秀高、田添龍一、田中玄太、田中次郎、谷 昌也、種倉俊之、高橋

信彦、武野泰之、千原光雄、Anong Chirapart、張曉明、寺田竜太、傳宝 隆、土井孝爾、富永春江、中川修三、中嶋 泰、長嶋美香子、中野武登、中村省吾、中山 剛、中山恭彦、南雲 保、奈倉 昇、難波信由、二宮早由子、野崎久義、能登谷正浩、野呂忠秀、Nils T. Hagen、馬場将輔、幡野恭子、濱田 仁、浜田征雄、林 恭子、林 武彦、林田文郎、原田恭行、半田信司、坂東忠司、樋口澄夫、樋口隆司、藤田大介、藤田隆夫、古川隆博、穂刈貞枝、堀田和夫、堀 輝三、堀江 剛、堀口健雄、本多大輔、前川行幸、前田 士、前田昌徹、正木康昭、松井紀憲、松村元美、真山茂樹、松坂智之、松永 茂、松本正喜、三浦昭雄、水田浩之、御園生拓、宮崎なるみ、宮地和幸、宮村新一、宮本奈保、村岡大祐、Øjvind Moestrup、本村泰三、森史、安井一朗、安井 肇、安田郁子、山形 光、山岸高旺、山下博和、山本弘敏、山本正之、山本鎔子、湯口能生夫、横田明穂、横浜康継、吉崎 誠、吉澤順子、吉田忠生、吉永一男、四ツ倉典滋、Danillo B. Largo、Jacqueline Rabello、若林 洋、渡辺 信（しん）、渡辺 信（まこと）。

2. 編集委員会・評議員会

第18回大会期間の3月29日に富山県民会館会議室（301号室）において編集委員会及び評議員会を開催した。評議員会では1994年度総会に提出する報告事項・議題などの審議を行った。審議の内容については総会の項を参照されたい。

編集委員会出席者：有賀祐勝、石川依久子、井上 勲、大野正夫、岡崎恵視、片山舒康、加藤哲也、川井浩史、喜田和四郎、小林 弘、前川行幸、真山茂樹、千原光雄、堀 輝三、吉田忠生、渡辺 信、横浜康継。

評議員会出席者：有賀祐勝、石川依久子、井上 勲、喜田和四郎、大野正夫、田中次郎、谷口和也、千原光雄、岡崎恵視、鰐坂哲朗、吉田忠生、山本弘敏、横浜康継、能登谷正浩、佐藤博雄。

3. 1994年度総会

1994年3月30日（大会第2日目）の講演終了後、富山県民会館特別会議室（304号室）において総会を開催した。有賀祐勝学会長の挨拶に続いて、渡辺信氏（富山大学）を議長に選出して議事に入った。

I. 報告事項

1. 庶務関係

(1) 会員状況 (1994年3月現在) : 名誉会員2名, 普通会員535名, 学生会員61名, 団体会員48名, 賛助会員11名, 外国会員109名, 購読53件, 寄贈・交換28件。(2) 1993年度文部省科学研究費刊行助成金「研究成果公開促進費」交付額は1060千円で, 責任頁は360頁である。(3) 第17回大会を1993年3月30・31日に東海大学海洋学部で開催した。(4) 評議員会を1993年3月29日に東海大学海洋学部で, 6月11日および11月27日付け(持ち回り)で開催した。(5) 会員名簿を1993年7月に発行した。(6) 1993年度秋季シンポジウムは1993年10月29日に東京JAホールで「海苔の機能性をめぐる諸問題」をテーマに開催した(藻類42巻1号参照)。(6) 第3回日本藻類学会賞は小亀一弘・川井浩史両氏に授与されることになった。対象論文は41巻1号掲載の Morphology and life history of *Petalonia zosterifolia* (Reinke) O. Kuntze (Scytosiphonales, Phaeophyceae) from Japan である。

2. 会計関係

(1) 12月31日現在の1993年度の会費納入率は, 普通会員82%, 学生会員92%, 賛助会員27%, 団体会員40%, 外国会員41%である。(2) 1993年度一般会計と同山田幸男博士記念事業基金特別会計の決算は, 大森正之(東京大学), 都築幹夫(東京大学)の両会計監事により1994年3月5日監査が行われ, 適正であると承認された。

3. 編集関係

(1) 1993年度に発行した「藻類」第41巻第1～4号は, 総頁数427頁, 掲載論文数21編(内, 英論文20編, 和論文1編), 短報11編(内, 英短報8編, 和短報3編), 総説2編, 雑録22編であった。頁当たりの平均経費は10,939円であった。掲載論文の超過頁は55頁であった。

(2) 1994年3月10日に発行した第42巻第1号は, 掲載論文数8編(内, 英論文7編, 和論文1編), 短報2編(内, 英短報0編, 和短報1編), 総説1編, 雑録6編で, 148頁であった。

(3) 1994年3月26日現在の投稿論文状況は, 受理済み3編, 却下2編, 期限切れ2編, 著者取消0編, 著者改訂依頼中8編, 審査中3編である。

4. その他

(1) 名誉会員として岩本康三氏が推薦された。

(2) 学会誌の改革に関連して, 会則の改正が次の通り承認された。

会則の改正

第12条 1. 本会は定期刊行物「Phycological Research」及び「藻類」をそれぞれ年4回及び3回刊行し, 会員に無料で配布する。

2. 「Phycological Research」及び「藻類」の編集・刊行のために編集委員会を置く。

第13条 (削除)

(付則)

第5条 会員が「藻類」のバックナンバーを求めるときは各号1,750円とし, 非会員の「藻類」の予約購読料は各号3,000円とする。

本会則は1995年1月1日より改正施行する。

II. 審議事項

1. 庶務関係

以下のことが審議され, 承認された。(1)「藻類」第42巻第1～4号を発行する。(2) 会長・評議員の選挙を実施する。(3) 秋季シンポジウムとして, 「藻類の生理活性物質(仮題)」(1994年9月19日:札幌)を開催する。(4) 日本藻類学会第19回大会を開催する(候補地未定であったが, 後日高知で開催することになった)。

2. 会計関係

(1) 1993年度一般会計の決算報告および同監査報告は表-1のとおり承認された。(2) 1993年度山田幸男博士記念事業特別会計の決算報告および同監査報告は表-2のとおり承認された。(3) 1993年度一般会計および山田幸男博士記念事業特別会計の予算は表-3のとおり承認された。

4. 日本藻類学会第18回大会エクスカージョン報告

1994年3月27～28日に, のとじま水族館(石川県)及び女良ワカメ養殖・灰付け作業(富山県)を視察した。藤田大介, 佐野修(いしかわ動物園)の両氏を世話人に, 会員等23名が参加した。なお, 見学会の内容は参加記を参照されたい。

エクスカージョンの開催にあたって, のとじま水族館及び氷見漁業協同組合女良支所の皆様には大変お世話になった。この場を借りてお礼を申し上げる。

表-1 1993年度一般会計決算 (1993. 1. 1-1993. 12. 31)

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
会費	4,469,375	印刷費	5,331,123
〔普通会員〕	3,404,000	〔印刷代〕	4,671,050
〔学生会員〕	325,000	〔別刷代〕	660,073
〔外国会員〕	277,375	編集費	371,476
〔団体会員〕	243,000	〔英文校閲料〕	100,000
〔賛助会員〕	220,000	〔編集補助費〕	50,000
販売	838,000	〔通信連絡費〕	190,145
〔定期購読〕	829,000	〔事務用品費〕	31,331
〔バックナンバー〕	9,000	会誌発送費	357,992
別刷代	608,310	庶務費	1,223,303
超過頁負担金	666,000	〔事務用品費〕	545
広告代	180,000	〔会議費〕	18,350
受取利息	37,544	〔通信・印刷費〕	566,273
プログラム代	30,940	〔事務整理補助費〕	30,000
文部省刊行助成金	1,060,000	〔幹事旅費補助〕	53,300
雑収入	138,374	〔幹事手当〕	200,000
寄付金	124,400	〔諸雑費〕	354,835
		事務業務委託費	1,483,200
		第17回大会補助費	120,000
		秋季シンポジウム会場費	50,000
		名簿代	252,514
小計	8,152,943	小計	9,189,608
前年度繰越金	5,875,218	次年度繰越金	4,838,553
合計	14,028,161	合計	14,028,161

貸借対照表 (1993年12月31日現在)

借方 (円)		貸方 (円)	
定期預金 (第一勧業銀行)	3,000,000	未払金	988,822
普通預金 (第一勧業銀行)	589,744	前受会費	1,390,000
普通預金 (住友銀行)	76,947		
〔本部〕	76,947	前期繰越金	5,875,218
普通預金 (山梨中央銀行)	35,954	当期剰余金	Δ1,036,665
〔編集室〕	35,954		
郵便振替貯金	1,052,796	次期繰越金	4,838,553
小口現金	75,296		
〔事務局〕	71,759		
〔本部〕	3,537		
受取小切手	126,780		
カード	37,880		
〔UCカード〕	37,880		
〔アメリカンエキスプレス〕	0		
未収金	2,213,100		
*仮払金	8,878		
合計	7,217,375	合計	7,217,375

*山田基金支払立替え分 (賞状代)

1994年3月5日

本会計決算報告は適正である事を認める。

1994年3月5日

会長 有賀 祐勝 ㊤
会計幹事 能登谷 正浩 ㊤会計監事 大森 正之 ㊤
会計監事 都筑 幹夫 ㊤

表-2 1993年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算 (1993. 1. 1-1993. 12. 31)

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
コンプ類売上金	1,000	賞状代	12,854
日米セミナー	4,000	送金手数料	412
受取利息	44,130		
小 計	49,130	小 計	13,266
前年度繰越金	2,296,595	次年度繰越金	2,332,459
合 計	2,345,725	合 計	2,345,725

貸借対照表 (1993年12月31日現在)

借 方 (円)		貸 方 (円)	
定期預金 (住友銀行)	1,900,000	未払金	8,878
普通預金 (住友銀行)	415,337	前期繰越金	2,296,595
現金	6,000	当期剰余金	35,864
郵便振替貯金	20,000		
		次期繰越金	2,332,459
合 計	2,341,337	合 計	2,341,337

1994年3月5日

会 長 有 賀 祐 勝 ㊦

会計幹事 能登谷 正 浩 ㊦

本会計決算報告は適正である事を認める。

1994年3月5日

会計監事 大 森 正 之 ㊦

会計監事 都 筑 幹 夫 ㊦

日本藻類学会第18回大会決算報告

1994年4月8日

収 入 (円)		支 出 (円)	
大会参加費		人件費 (アルバイト賃など)	420,000
普通会員	4,000 × 117人 = 468,000	プログラム印刷費 (200部)	36,560
学生会員	3,000 × 33人 = 99,000	会場賃貸料	427,670
懇親会費	3,000 × 127人 = 381,000	懇親会費	850,000
大会補助費	120,000	展示・会場設営費 (謝礼を含む)	190,000
財団補助金	522,000	茶・菓子代	27,270
寄付金	419,200	雑費 (通信等)	38,500
寄付物品売上金	180,800	学会へ寄付	200,000
合 計	2,190,000	合 計	2,190,000

表-3 1994年度一般会計予算

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
会費	4,770,000	印刷費	5,222,000
普通会員	3,184,000	印刷代(400頁)	4,622,000
学生会員	260,000	別刷代	600,000
外国会員	649,000	編集費	407,000
団体会員	490,000	英文校閲料	100,000
賛助会員	187,000	編集補助費	50,000
販売	763,000	通信連絡費	222,000
定期購読	663,000	事務用品費	35,000
バックナンバー	100,000	会誌発送費	398,000
別刷代	600,000	庶務費	1,023,000
超過頁負担金	500,000	事務用品費	20,000
広告代	210,000	会議費	60,000
受取利息	40,000	通信・印刷費	590,000
プログラム代	30,000	事務整理補助費	0
雑収入	10,000	諸雑費	100,000
刊行助成金	1,060,000	幹事旅費補助	53,000
寄付金	10,000	幹事手当	200,000
		学会業務委託費	1,557,360
		第18回大会補助費	120,000
		秋季シンポジウム会場費	50,000
小計	7,993,000	小計	8,777,360
前年度繰越金	4,709,218	予備費	3,924,858
合計	12,702,218	合計	12,702,218

1994年度山田幸男博士記念事業特別基金会計予算

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
山田追悼号売上金	7,000	学会賞	20,000
コンプ類売上金	1,000		
日米セミナー売上金	4,000		
受取利息	50,000		
小計	62,000	小計	20,000
前年度繰越金	2,338,595	予備費	2,380,595
合計	2,400,595	合計	2,400,595

— 会 員 移 動 —
新 入 会 員

住 所 変 更

退 会 者

